



# 國分寺高校野球部

## OBOG 会だより

2023 年 12 月発行



OBOG 会長挨拶	p1
新監督より	p2
2023 年春・夏・秋大会戦績	p3
新旧キャプテンより	p4
夏大会・秋大会の振り返り	p5
マスターズ甲子園優勝	p8
マスターズ甲子園戦績	p9
OBOG ゴルフ大会	p11
OBOG 野球大会	p12
OBOG 今日この頃	p13
監督退任のご挨拶	p14
編集後記	p15

KOKUBUNJI HIGH SCHOOL BASEBALL CLUB



國分寺高校 K

いつか、必ず甲子園で応援を!! Since 1969



## OBOG 会長挨拶

12 期 高辻 聡

OBOG 会の皆さま、如何お過ごしでしょうか。12 期の高辻です。日頃より会の活動にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

今年は、地球沸騰化という表現もされるほどの異常気象で、私も 11 月 2 週目になってようやく衣替えをするというそんな年でした。野球について思い返せば、WBC で待ジャパンの優勝で始まり、プロ野球では、レギュラーシ

ーズンをぶっちぎって優勝した阪神とオリックスが熱い関西対決を見せてくれました。どちらが勝ってもおかしくないなか、阪神が 38 年ぶりに「アレ」を「アレ」して幕を閉じました。阪神ファンの皆さんおめでとうございました！

高校野球では、“Enjoy Baseball”の慶応高校が、昨年夏の覇者、仙台育英を、OBOG の声援も力に加え 107 年ぶりに優勝しました。また国分寺が予選敗退した東京都の秋季大会では、関東一高が創価高校を 5-1 で下し、8 年ぶり 5 度目の優勝を飾っています。わが校は、春は予選からとなりますが、この冬で一回りも二回りも成長し、勇ましい姿を我々に見せてくれるものと信じています。

さて、8 月の総会で会の名称が OBOG 会となって最初の「OBOG 会だより」となりました。第 3 号となった今回も、新旧キャプテンからのひとこと、現役チームの春夏秋の結果報告、大躍進中のマスターズ国分寺等 OB 野球、またゴルフ大会の様子等々 OBOG の寄稿も交え盛りだくさんです。そして何より今回は、長きに亘り監督を務めてこられた加藤木先生が、夏季大会を持ちまして勇退され、都立上水高校（旧武蔵村山東高校）から来られた湯原先生にバトンを託されました。お二方からもお言葉を頂戴したのでお楽しみください。

今年は創部 55 周年という節目。現役に厚めの支援・寄贈をする年です。9 月に、以前贈ったバッティングマシンのホイール交換、11 月には BSO カウントボードを寄贈しました。更なるプレゼントを先生方と相談しているところです。

「いつか、必ず甲子園で応援を!!」のスローガンのもと、現役に経済的支援をすることが我々の会の活動の一丁目一番地。それを忘れることなく、先生方、保護者の皆さまとのつながりも大切に、総勢約 850 名の力を結集しましょう！

ここで改めてお願いします。会の活動は、ホームページへの掲載や Facebook、メール配信を中心に行っております。これらを通じて「つながっている」方は、全体の約半分に留まります。輪を広げるためにも、まだつながっていない、皆さんの同期や前後の先輩後輩の連絡先（メールアドレスや住所、電話番号等）を是非とも事務局までお知らせください。何卒よろしく申し上げます。

(HP) <https://kokubunjibaseball.com>

(mail) [kokubunjibaseball@gmail.com](mailto:kokubunjibaseball@gmail.com)

(facebook) <https://m.facebook.com/groups/327301050726920>

最後になりますが、みなさまのご健康とご多幸を祈念し、挨拶とさせていただきます。有難うございました。

ゴッコー、ファイブ！

## 新監督より 湯原 功久

### 国分寺高校 OBOG 会の皆様へ

今年度、国分寺高校に着任しました湯原功久（保健体育科）と申します。

4月から加藤木先生、松岡先生、そして、今年度着任の原先生とともに野球部顧問をとなりました。この度、54・55期の新チームより加藤木監督の後任として監督を引き継ぐこととなりました。また、新部長には武蔵野北高校より着任しました原 壮一新部長が務めます。

OBOG 会の皆様には、日頃より野球部の活動に多大なるご協力とご支援を頂いております。部活動指導員のOB高辻さん、大澤さんには年間を通じて、週末の練習や練習試合・大会等の指導。辻さんには、トレーナーとしてご指導を頂いております。また、今年度は55周年の節目として、LED BSO カウントボードおよびピッチングマシンのホイル交換など、高額のご支援をいただきました。誠にありがとうございます。

伝統ある国分寺高校野球部の歴史の一ページに携わることは大変光栄なことでもあります。私は、福生高校、上水高校で監督を20年、また、東京都高野連の役員として17年、高校野球に携わってまいりました。選手には、野球を通じて技術や成績の向上だけでなく、強健な体づくりや仲間とのチームプレーの大切さ学び、未来を担う高校生の健全な育成を大切にまいりました。



前監督の加藤木先生には、先生が狛江高校、駒場高校、そして国分寺高校の監督時代に練習試合で大変お世話になりました。先生は野球の指導力だけでなく、その厳しくも温かいお人柄は、以前より尊敬申し上げておりました。加藤木先生の後任を務めることは大変光栄であり、御縁を感じております。

新チームは54期主将の菊地和生を始め、54期選手8名・マネージャー2名、55期選手14名、マネージャー2名、総勢26名のスタートとなりました。

4年ぶりに夏季合宿を実施し、日々の練習や週末の練習試合に励んでおります。秋季大会は初戦敗退となりましたが、厳しい冬季練習を乗り越えて逞しく成長して、春季大会、選手権大会を迎え、目標を達成できるように頑張っております。

今後とも、OBOG 会の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

# 2023年春・夏・秋大会戦績

## 2023年 春季大会 ～ 本大会2回戦

都本大会：一回戦 4月1日@昭島球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
国分寺	0	5	0	3	1	2	4	10		25	25
城北	2	0	0	0	8	0	0	4		14	14

都本大会：二回戦 4月4日@昭島球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
実践学園	4	0	2	0	0	1	0	0	0	7	11
国分寺	0	0	0	0	1	0	4	1	0	6	9

## 2023年 夏季大会 ～ 4回戦

二回戦 7月11日@八王子球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
石神井	0	0	0	0	0					0	0
国分寺	0	0	3	3	4x					10	14

三回戦 7月15日@八王子球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
国分寺	0	1	0	0	1	0	0			2	3
國學院久我山	6	2	3	0	0	0	x			11	13

## 2023年 秋季大会 ～ ブロック予選一回戦

ブロック予選：初戦 9月2日@東大和高校G

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
東大和	0	0	2	0	2	1	0	0	1	6	
国分寺	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3	

## 前キャプテンより

### 53期キャプテン 三神 聖矢

自分たちの代は 8 人という人数でここまでやってきました。この人数の少なさを欠点と思うのではなく利点として捉え、練習メニューなどを工夫してきました。結果は 3 回戦敗退という形になってしまいましたが、たくさんの声援ありがとうございました。春で加藤木先生は退任される予定でしたが、無理を言って残ってもらい共に最後の夏を戦いぬくことができました。自分たちが加藤木先生の最後の代であることを誇りに思っています。これからは国分寺高校野球部で学んだことを活かし頑張っていきたいと思います。これまで支えてくださりありがとうございました。



## 新キャプテンより

### 54期キャプテン 菊地 和王

54 期キャプテンの菊地和王です。まずは先日 OBOG 会からの BSO カウントボードの寄贈、日頃この国分寺高校野球部へのご支援にチームを代表して私から心より感謝を申し上げます。私達 54 期 55 期の代は現在秋季大会で初戦敗退を喫した悔しさを春季大会で本戦出場と言った形で晴らすべく日々練習をしています。秋の大会やその後の練習試合を経てチームとしての至らなさ、技術や体格の差等多くの課題を発見することができ冬を迎えるにあたってチームの雰囲気次第に高まっていくことを感じます。最初のミーティングで掲げた夏季大会に神宮球場まで勝ち上がることを見据えて短い期間で自分たちには何ができるのかを常に考えて活動していくのでこれからも国分寺高校野球部への応援よろしく願います。





日頃より国分寺高校硬式野球部へのご支援とご声援、感謝申し上げます。本年夏の選手権大会（53期）と秋の秋季東京都大会（54期）につままして、簡単ではありますが、以下の通りご報告をさせていただきます。

## 夏の選手権大会 [53期]

例年に比べ部員数が大幅に少なく（53期8名、54期10名、55期16名、うちマネージャー4名（54期2名、55期2名））練習内容を工夫し、技術・体力・精神力を日々コツコツと積み上げてきた53期。この夏を象徴する酷暑の中、八王子市民球場で初戦（2回戦）の石神井高校戦のプレイボールのサイレンが鳴るとともに、53期最後の選手権大会が始まった。



25期 大澤 晃弘  
(外部指導員)

先発の阿部は初回からテンポ良く投げ込み、1回2回と3者凡退に抑える。打線は阿部を援護したいところだが、2回にサード建部、ライト原田と連続ヒット打ち、2アウト1、3塁のチャンスを迎えるものの、後続が続かず阿部を援護できない。3回表エラーから初ランナーを出すものの、阿部が後続をしっかり抑え、無失点で切り抜ける。迎えた3回の裏、先頭の9番レフト高橋がファールで粘りフォアボール。1番ショート野口がしっかりとバントで送り1アウト2塁。2番セカンド青木が内野安打で1アウト1、3塁。3番センター藤野がレフトへのタイムリーで待望の先制点。4番ファースト三神のデットボール後、5番阿部がライトへの犠牲フライを放ち2点目。6番建部がショートへの内野安打で、3回に3点を先取した。打線はその後4回3点、5回4点を取り10-0での5回コールドで初戦を突破した。先発阿部は、3回にエラーで出塁したランナー以外は一人も塁に出さず、5回参考ながらもノーヒットノーランをやったのけた。



迎えた3回戦。強豪国学院久我山戦。この日も酷暑の中でプレイボールとなった。先行の国分寺は初回を3者凡退の0点で終わり、むかえた1回の裏。先発阿部が先頭打者にヒットを許すと、2番に送りバントをされ、その後3番から6番まで長短打を浴び1回裏6失点。2回表の攻撃で相手のエラー絡みから1点返すものの、2回裏途中阿部が1失点したところで、2年の唐亀にマウンドを譲る。三回

裏にも 3 点取られ 1-11。誰もが 5 回コールドが頭の中をよぎっただろう。

しかし、ここからが 53 期の真骨頂である粘りの野球だった。5 番セカンド阿部から始まる打線であったが、阿部、建部と簡単に 2 アウトを取られたものの、7 番ライト原田がショートエラーで出塁。8 番キャッチャー佃が粘ってフォウボールを選び、9 番ピッチャー唐亀が執念のタイムリーライト前ヒット。2-11 となり五回コールドを免れた。阿部からマウンドを渡された唐亀は、4 回以降は丁寧に投げ込み 6 回まで失点なしで投げきった。向かえた 7 回表の国分寺の攻撃。2 アウト満塁までチャンスメイクしたものの、2 番青木がショートゴロに終わり、53 期の夏の選手権大会の幕を閉じた。



53 期 8 名は入学当初からどの期よりも大人しく、インパクトがないと感じていた。しかし 2 年生となりそして自らの代になると 53 期一人ひとりの自覚と覚悟からか、諦めず淡々とプレーするスタイルが、これまでにない粘り強いチーム力を作り上げることができたのではないかと思う。特にキャプテン三神は色々な葛藤があったとは思いますが、人数が少なかったことは理由にはせず、日々の練習を工夫し、仲間を鼓舞し続け、チームを牽引しているそのキャプテンシーは称賛に値する。この凝縮された 1 年間は三神の今後の人生においても、きっと自信や支えになるだろう。

## 秋季大会 [54 期]



新チームより本年武蔵野北高校から転任された原先生が硬式野球部部長に就任し、同じく上水高校から転任された湯原先生が監督に就任、新キャプテンに菊地が選任され、新規一転して 54 期はスタートした。53 期同様部員 10 名（マネージャー 2 名）、55 期部員 16 名（マネージャー 2 名）の 26 名体制と決して大所帯ではない。また小粒で野球の下地が伴っていない選手が多いため、選手

と監督と何度もミーティングを行い、目の前の結果（勝敗）にはこだわらず、来年夏の選手権を見据え、今は経験を積み、そのプロセスの中で発生した失敗に対し対策を考え、対策をコツコツと身に付くまで実行することを約束事とし、チーム力を上げていくこととした。

迎えた秋季東京都大会初戦の都立東大和戦。1 年の好投手忌部君の前にうまく交わされ、4 回までに 1-2 と 1 点ビハインド。5 回に東大和 4 番に HR を打たれた後、1 アウト取ったものの、ヒットとフォウボールで



1、2 塁となり、センター前に打たれ 1-4 と点差が開いた。また 6 回にはパスボールによる 1 点を献上すると、8 回の裏に国分寺は 1 アウト 2、3 塁のチャンスを作るものの、3 番菊地のショートゴロの間に 1 点返すが、走塁ミスもあり 1 点止まりで 3-5。9 回表に東大和に 1 点を追加され、3-6 で敗戦となった。

どの期にも言えることだが、失点の多くはエラーやフォアボール、スコアブックには載らないミスなどが殆どであり、これらを如何に少なくし、流れを呼び込むかが勝敗を決めてくる。54 期についてもこの課題は変わらないだろう。そして来春の大会からバットの規格が変更になる。これまでの規格に比べバットは細くなり、芯が狭くなったため、芯を食わない打球は全く飛ばなくなる。そのためより細かい野球が求められるため、ロースコアになるケースが増えると考えられる。よって細かい野球が淡々とできないチームは勝ち上がれないだろう。

今 54 期は 12 月を向かえオフシーズンとなり、冬の地道なトレーニング期間に入っている。このトレーニングを通じて鍛えあげた体力や精神力そして技術を、来春の大会そして夏の選手権大会に繋げていきたい。

## 結び

OBOG 会の皆様方に於かれましては、引き続き 54 期のご声援とご支援をお願いするとともに、コロナ禍によって制限されていた観戦も解除されているため、是非球場に足を運んで頂き、熱いご声援を選手達にかけて頂ければ幸いです。

最後となりますが、加藤木先生が 53 期を最後に監督を退任されました。これまで 3 度に亘り国分寺高校硬式野球部の監督（監督期間：22～28 期、49～50 期、53 期、在任期間：20～30 期、49 期～）を務めて頂いた加藤木先生は、硬式野球部の発展のために日々邁進され、各期の選手・マネージャー達と真摯に向き合いながら、野球を通じた人間形成の発展に尽力を頂きました。私自身 25 期生時代に加藤木先生からのご指導を頂き、30 年経った今、こうして青春の庭であった国分寺高校のグラウンドにご一緒に立てたことを心から感謝しております。本当にありがとうございました。



55 周年記念として OBOG 会より BSO カウントボードを寄贈。また、5 年前に寄贈したバッティングマシンのホイール（回転盤）の交換もこれに先立ち 9 月に実施。



# 2022 マスターズ甲子園優勝



## 24期 船山 哲生

マスターズ決勝で、生涯初のサヨナラヒット、最高でした。  
結果として私が MVP をいただきましたが、活動の場を準備してくれる事務局の方が真の MVP だと思っています。  
23 シーズンは悔しい思いましたが、来年もまた優勝できるようチーム一丸頑張らしましょう！

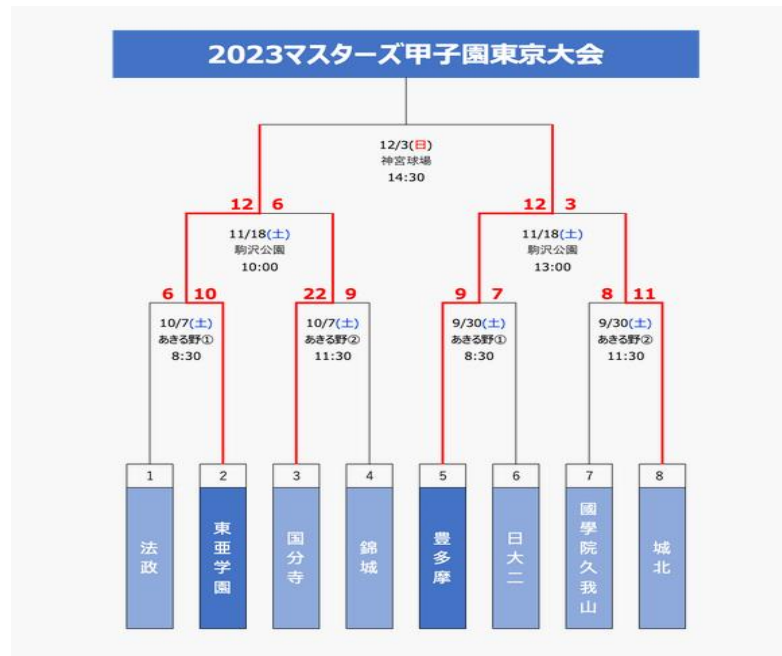
## 50期 高木 晴輝

初めまして。50 期の高木と申します。加藤木先生にお誘いを頂き、2021 年から参加させていただいております。年の離れた先輩方に温かく迎え入れて頂き、楽しくプレーすることができています。大学でも部活で軟式野球をしています。マスターズでは初めてお会いする先輩と意外な共通点があったり、人生の大先輩から貴重なお話を頂いたり、現役の部活とはまた違った経験もできて参加する度に有意義な時間を過ごせています！そして昨年度は神宮球場のグラウンドに立たせていただくこともでき、あと一歩で甲子園という経験も出来ました。「甲子園に行きたい！」という気持ちをずっと持ち続けられるのがマスターズのなによりの魅力だと思います。興味のある方と一緒に甲子園を目指しましょう！（特にオレンジのユニフォームの世代の人がいなくて写真撮る時少し寂しいです^^;）





## 2023年シーズン戦績 ~ 惜しくもベスト4



### 2023年 マスタース甲子園 ~ 東京大会

東京代表Playoff： 3月21日@小野路球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
国分寺	0	1	1	1	0	1				4	7	5
日大二高	0	3	4	5	3	X				15	9	2

リーグ予選第1戦： 5月4日@小野路球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
日体荏原	0	1	2	0	0	0				3	7	1
国分寺	4	2	1	2	2	1				12	10	0

リーグ予選第2戦： 5月28日@府中球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
麻布	0	0	3	1	0					4	8	7
国分寺	3	6	5	0	10					24	17	2

準々決勝： 10月7日@あきる野球場

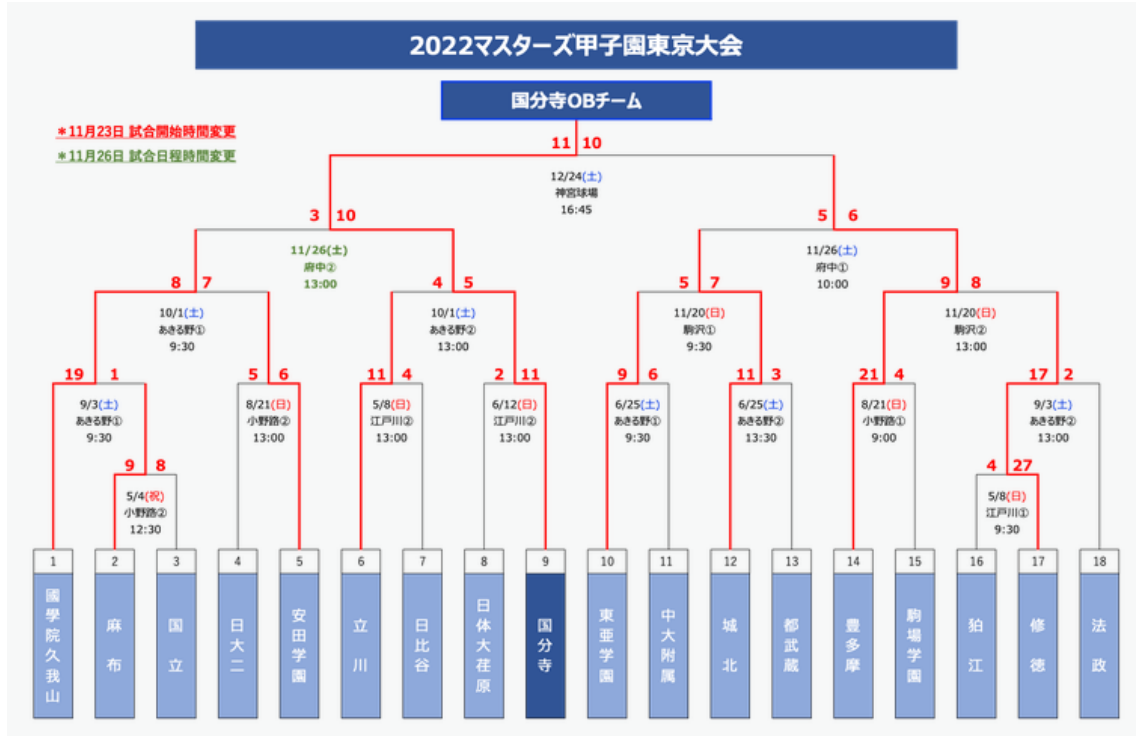
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
国分寺	1	12	0	7	2					22	21	2
錦城	0	0	2	2	5					9	10	7

準決勝： 11月18日@駒沢球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
東亜学園	3	0	0	0	1	0	8			12	10	3
国分寺	2	1	3	0	0	0	0			6	11	7

# 2022年シーズン戦績 ～ 初優勝！

甲子園を懸けた21年覇者:日大二高とのPlayoffにて涙のむ決勝戦のサヨナラの瞬間&歓喜を含む、多くの動画・写真はfacebookに  
<https://www.facebook.com/groups/327301050726920/>



## 2022年 マスターズ甲子園 ～ 東京大会

二回戦： 6月12日@江戸川球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日体荏原	0	0	2	0	0					2
国分寺	4	0	4	3	X					11

準々決勝： 10月1日@あきる野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
国分寺	0	0	0	4	0	1	0			5
立川	1	0	0	1	0	2	0			4

準決勝： 11月26日@府中球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
国分寺	0	2	4	0	0	0	0	4		10
國學院久我山	0	1	0	1	0	1	0	0		3

決勝： 12月24日@神宮球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
豊多摩	0	1	4	2	3					10
国分寺	0	3	0	7	1X					11

# OBOG ゴルフ大会



## 6期 富田 賢

国分寺高校野球部 OBOG ゴルフ大会（信幹杯）は 1995 年以来、年に 1 度開催され今年で 29 回、来年はいよいよ 30 回の記念大会になる（開催ゴルフ場は昭和の森、GMG 八王子、立川国際など）。その間川本先生、伊藤多嘉志さんと私がそれぞれ優勝回数 4 回で最多優勝回数となっていると聞き驚いている。

記憶にあるのはやはり川本先生の事。60 歳を過ぎてからゴルフを始めてシングルの腕前、その才能とエネルギーには驚くしかない。勉強、野球、ゴルフどれを取っても先生を越せない不詳の教え子がほとんど。生前の川本先生は我々とプレー中ミスショットを連発する教え子を嬉しそうに見ながら、何かで俺を越してみろと言わんばかりの表情で手堅いゴルフをされていた。結局ゴルフで先生を凌駕したと言えるのはただ一人、プロゴルファーになったご子息川本信之さんのみ（ご子息も毎回ゲストとして参加、我々のへぼゴルフにお付き合いいただいている）。そしてとうとう教え子の我々はゴルフでも先生を越えることが出来ないまま先生に逃げ切られた。

川本先生が鬼籍に入られてからは先生のいない信幹杯となり、やはり寂しい。野球をやっている時はグラウンドに響き渡る声で叱咤されたが、ゴルフをやっても川本先生の声は良く通り、ティーグラウンドでどっしりと構えた姿を思い出す。

最近このゴルフ大会の参加者がなかなか増えず、毎回同じようなメンバーでの開催となっている。ゴルフは老若男女一緒に楽しめるスポーツで、自分の交際範囲が広くなり仕事にも生かせることが多い。

若い OBOG の皆さんには是非ゴルフを始めて信幹杯に参加していただき、老化が進む我々常連 OBOG に目の覚めるようなドライバーショットを見せてもらいたい。



## 15期 吉田 崇之

信幹杯（第 29 回 OBOG ゴルフ会）を 2023 年 10 月 8 日に開催しました。

会場となった昭和の森ゴルフコースは川本信幹先生のホームコースでした。先生自ら幹事役を担われ、1995 年（平成 7 年）に第 1 回 OBOG ゴルフ会がこのコースで開かれ、同時に OBOG 会の始動となりました。

時は流れ 10 月 25 日をもって閉場となるこのコースでの最後の信幹杯となりました。

—ゴルフ会初期メンバーの 12 期小泉さんが見事優勝

—準優勝はマスターズでのミスターMVP 21 期大塚さん

穏やかな天候のもと、気持ち良く、楽しい、少し寂しい 1 日となりました。来年以降、極力費用を抑えて会場選びを行います。上手い下手は関係ありません（我々世代はもう上手くなりません）、教え魔もいません（体調や年金のことなど考えることが多くなり、ゴルフスイングまで頭が回りません）。最低限のマナーを知っていれば大丈夫。同期などお誘いの上、ぜひぜひご参加ください。



# OBOG 野球大会



16期 船橋 英晴



今年は 2023 年 8 月 20 日に本校グラウンドにて、OBOG 総会後に OBOG 野球大会が開催されました。

OBOG の皆様はじめまして。16 期の船橋と申します。先日、本当に久しぶり（数十年振り）に OBOG 野球大会に参加させていただきました。母校のグラウンドでの硬球を使用した試合は懐かし、同期や先輩後輩の動きを見てもすぐに当時のことが思い出され、とても楽しい時間を過ごすことができました。そもそものきっかけは、自分の息子が縁あって母校に入学そして野球部に入部し、頻りに試合の応援などに顔を出させていただくようになったことでした。あらためて、高校野球をやっていた頃の気持ちが思い出され、そして母校の野球部を応援したいという思いなどいろいろなものが沸き上がってきた感じでした。息子の卒業とともに本年の OBOG 戦の参加に至った次第です。現在ではマスターズにも参加をさせていただいております。今後も国分寺高校野球部の活躍・発展を応援していきたいと思っております。



20期 岸 和章



OBOG の皆様はじめまして。20 期で主将を務めていた岸と申します。5 年ほど島根県で仕事をしていましたが、メールや SNS で拝見するマスターズ大会での活躍に刺激を受けていたのと、東京に戻ってきたタイミングとも重なり、OBOG 会に参加させていただきました。

久しぶりの母校は、校舎もグラウンドも変わっている所が多く、懐かしさと共に驚きも感じました。そして、元気な挨拶で迎えてくれる現役生たちに、とても爽やかな印象を受けました。

プレーの方は、何年もボールに触ってすらいない私には、硬式ボールは重く、塁間はとても遠く感じました。投げて届かない…、球際の集中力が出せずゴロをキャッチしきれない…等、イメージ通りに体が動かず歯痒い思いもありましたが、それでもあの硬式球の感触は何とも言えずいいものです。何より先輩 O B ・後輩 O B ・現役の皆さんが混じって賑やかに明るく、でも一生懸命プレーする雰囲気はとても楽しい時間でした。

リモートで参加させて頂いた総会で、国分寺高校の様に OBOG 会が機能して運営されている学校は少ないと聞きました。運営してくださっている O B O G の皆さま本当にありがとうございます。今回参加させて頂いて、世代を超えた繋がりを体験して、国分寺高校野球部の素晴らしさを改めて実感しました。この繋がりを絶やさず継続していけるように、O B O G 皆で現役世代を支援していきましょう。

## ～ OBOG 今日この頃 ～

### 14期 有田 浩子

硬式野球部初年度に入学した14期のマネジャーです。甲子園に憧れ、高校時代にしかできないことをとマネジャーを希望しました。仲間や先生に恵まれた3年間でした。



入部してすぐに、自校のグラウンドでは練習試合が組めないことと、部活動の運営費がわずかであることを知りました。OBからいただく1ダースの真っ白なボールは貴重品で、1球も無駄にできないため糸のほつれたボールは縫い直して使いました。球場を借りたり、立派なグラウンドのある高校に昼休みや放課後に電話しては試合を申し込みました。後輩マネジャーのついでに甲子園に出場した創価高校と試合が組めたこともありました。

運営費を増やすため、本の販売をしました。川本信幹監督（当時）は、生口十朗というペンネームで原爆作家としても活動していました。在学中に「緋の喪章」と「白い夏」の2冊が出版されましたが、1冊売ると100円が部費になる、というので手分けして売りました。

マネジャーの役得といえば試合のときに監督のそばでスコアをつけられることでした。川本監督は、いつもベンチでつぶやいていました。つぶやく声は大きめで、独り言というよりは、周囲に聞かせるためだったと思います。

大学卒業後に新聞記者になり、春の選抜に出場する帝京高校を担当しましたが、前田三夫監督（当時）に、「練習試合の監督をやらせてほしい」と頼んだことがありました。川本監督を見ていて、自分もやってみたくなったのです。OKが出た後、川本監督にサインの出し方を聞きに行きました。ただ、帝京野球は1球1球サインを出すのが当たり前のようで、スクイズやバントなど4つぐらいしかサインを出さない私に選手は戸惑っていました。「頭を使え」。川本監督が、よく大きな声で言っていたのを思い出しました。初甲子園は仕事ででしたが、いつか必ず、母校の出場でこの場に来たいと思いました。

数年前、OBたちがマスターズ甲子園に挑戦するというのを聞き、その手もあったと、うれしくなりました。昨年、神宮球場で行われた都立豊多摩高校との決勝を見に行き、優勝の瞬間に立ち会うことができました。

もちろん、現役のみみなさまの活躍も願っています。OBの高辻さんや仁木さんから、現役チームの情報も知らせてもらい、夏の大会前は、今でも少し自分のことのように緊張します。

「いつか必ず甲子園」。絶対に行きましょう。そして「われら、青春の庭♪」を歌いましょう！



硬式化創成期の12-14期 OBOG と共に



OBOG 会の皆様、日頃より国分寺高校野球の活動にご支援、ご声援を賜り誠にありがとうございます。さて、私事ではありますが、2023 年夏の大会をもちまして国分寺高校野球部の監督を退任し、一線から退くことにいたしました。今まで、支えてくださった皆様には心より感謝申し上げます。

教員生活 40 年のうち、16 年間、国分寺高校野球部の指導に携わり、そのうち、3 回、合計 10 年にわたり監督として活動させていただきました。生徒(後輩)に恵まれて野球の楽しさを十分に味わい充実した時間を過ごすことができました。まさに、今年の WBC 日本代表が自力で勝るアメリカ代表に勝利し世界一になったように、野球部推薦枠のない普通の都立高校の生徒たちと甲子園常連校を倒して甲子園を目指そうと切磋琢磨できたことは誇りに思います。年齢からくる体力の衰えがなければまだまだ続けたいところですが、今が潮時のようです。

今後は、川本信幹先生の“大物食い”精神を引き継いで大きな成果を上げてもらうべく後方より支援していく所存です。皆さん、球場ではスタンドからグラウンドに向けて一緒にエネルギーを送りましょう。慶応高校の応援に負けてはいられませんよ。



夏季大会、国学院久我山戦敗退後、最後のミーティング





## 編集後記



多くの OBOG に御協力・寄稿頂き、昨年に引き続き OBOG 会だよりを発行することができました。ご多忙のなかご寄稿頂いた皆様に、改めて御礼申し上げます。

我々 OBOG が国分寺高校野球部で活動していたのはほんの 3 年弱で今や過去の栄光です。しかし、OBOG 会に参加することでこれが現在進行形へと変わります。各人の立場が変わり、また世代を超えて、共通のアイデンティティのもと新たな繋がりが生まれる。参加された多くの方はこんな魅力を感じたのではないのでしょうか。OBOG メンバーの方々の積極的な参加を歓迎しております。

この OBOG だよりを読まれた方の中で、ご意見・ご感想のある方、またご協力頂ける OBOG は、是非とも、事務局まで連絡を！

[kokubunjibaseball@gmail.com](mailto:kokubunjibaseball@gmail.com)

最後に、月並みではありますが、OBOG 会は会員の親睦は勿論のこと、野球部活動への金銭的バックアップサポートを主な目的としています。会費の納入はいつでも受け付けておりますので、ぜひご協力下さい。

### <年会費のお知らせ>

- 社会人 一口 2,000 円
- 大学生 一口 1,000 円

※金額の上限はございません。ご支援頂ける範囲で、何口でもお願いします。

会費納入は、いつでも結構ですが、夏の甲子園予選と本大会・秋季都大会のある 7-9 月を毎年納入推奨期間としております。

### <お振込み先のご案内>

※振込みの際、期数・お名前の記載を必ずお願いします。

三井住友銀行 

店名： 神保町支店

店番： 001

預金種目： 普通預金

口座番号： 2214471

口座名義： 都立国分寺高等学校  
野球部 OB 会

ゆうちょ銀行 

#### ■ ゆうちょ銀行から振込みの場合

記号： 10130

番号： 70089781

口座名義： 都立国分寺高等学校野球部 OB 会

#### ■ 他金融機関から振込みの場合

店名： 0一八

店番： 018

預金種目： 普通預金

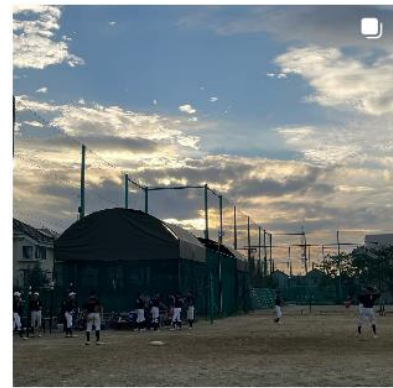
口座番号： 7008978

口座名義： 都立国分寺高等学校野球部 OB 会

編集担当： 山崎 (16 期)

編集補佐： 仁木 (13 期)

<https://kokubunjibaseball.com>



現役 Instagram より

[https://www.instagram.com/kokubunji\\_baseball/](https://www.instagram.com/kokubunji_baseball/)

